

『第5回学生が選ぶインターンシップアワード』学校応募データ

| 学校情報 | | | |
|------|--|------|--------|
| | | 学校区分 | 私立 |
| | | 管理ID | 200028 |

ISタイトル

インターンシップを活用した社会人基礎力の養成とキャリア観の醸成

オリエンテーション 事前学習（実施項目）

インターンシップ参加目的の明確化 インターンシップの内容説明 職業適性・自己理解などを深めるワーク 業界・企業・仕事内容の説明 応募書類の書き方の講義・レクチャー マナー等社会人基礎の講習・レクチャー 学生1人ひとりに対する目標設定

オリエンテーション 事前学習 内容詳細（自由記述）

■インターンシップ概要：インターンシップの意義を理解するためのマインドセットをし、参加することの意義を自ら考えて発言する＝やらされ感から自分が参加するという意識付けをする。

■現状の自分理解：自己理解を進めていく上での動機づけを図る。 自己理解はなぜ必要か、大切な、その意義を理解し、現時点での自己PRを作成する。

■企業（業界）研究：企業研究はなぜ必要か、その意義を理解し、企業や仕事を知るプロセスを知る。

■目標設定：目的（インターンシップで何をしたいか）と、目標（目的を果たすための行動）を決め、具体的に言葉にする。

■身だしなみ＆マナー：社会人として当たり前求められるマナーを理解する。

■活動日報の書き方 等：活動日報等、IS中に自分自身の活動を振り返る意義を理解させる。

インターンシップ 実施項目

【実務体験】実際の業務を一部実施 【実務体験】社員の外回りの業務への同行 【疑似体験】課題に対するグループワーク（企画立案、課題解決、プレゼンなど） 【交流】社員の同行等による仕事見学 オフィス・工場・研究所などの職場見学 【交流】社員との座談会 【交流】参加学生との座談会 【その他】人事や社員による講義・レクチャー 【その他】就職活動に対するアドバイス・レクチャー

インターンシップ 内容詳細（自由記述）

【実務体験】
品質保証課にて、製品検査による当社製品の知識の習得
営業事務実習（パソコンを利用した伝票作成、見積り作成業務）
海外拠点との連絡業務のアシスタント
サービス利用者への接客応対

【社員の外回り業務への動向】
お客様等への同行訪問

【課題に対するグループワーク】
会社の新商品・サービス企画

上記を通じて仕事理解を深めることに加え、実務の中で自身ができること・できないことが明確になる。
また、第三者（受入企業の社員）からのフィードバックから他社視点を入れた自己理解を深めるきっかけとした。

| 協力社員の属性 | |
|--|--|
| 社長 課長（マネージャー） 主任（チームリーダー） 若手社員 社外の人（お客様、取引先など） | |
| 具体的社員交流 | |
| <div>様々なバックグラウンドを持った社員がいる企業において、その方とのコミュニケーションの中でキャリア観を醸成する機会に繋がった。（昼食時など、業務以外の場でフランクに実施）</div> <div>また、事後の成果報告会には受入先の社員の方にも同席いただき、発表後のフィードバックをもらった。</div> | |

NO.

| インターンシップ情報 | | | | | |
|------------|--------------------------------------|-------|-----|-------|----|
| 開催月 | 2021年8月 2021年9月 | | | | |
| 対象属性（文理） | 学生 の 受入 日数 | | | 総受入人数 | 39 |
| 低学年参加 | 文系学生のみを対象 | | | 単位認定 | はい |
| 他学校などの連携か？ | 大学低学年を積極的に受け入れていて、参加があった | | | | |
| 実施形式 | いいえ | 報酬・支給 | その他 | | |
| 全て対面形式での実施 | | | | | |

フィードバック手法

個人に対する口頭と書面の両方

フィードバック時間

30分未満

フィードバック頻度

プログラム期間中1回実施した

FB内容詳細（自由記述）

社会人基礎力の項目をベースとした評価シートを大学側で用意し、インターンシップ終了後にフィードバックをもらった。
こうすることで、事前のオリエンテーションで実施した自分で把握していることとの同評価や乖離などが見えてきて、自己理解へとつながった。
特に乖離した部分については、どういった場面でそう判断されたのかも明記してもらった。

フォローアップ 事後学習（実施項目）

学生自身によるインターンシップ経験の振り返り・学びの言語化 個人面談 講義・レクチャー 発表会・報告会

フォローアップ 事後学習（自由記述）

実施後の振り返りでは、ワークシートを基に、経験の振り返りや今後の目標を設定してもらった。グループでも共有し、互いにアドバイスをすることを実施。
また、担当職員との個別面談を実施した。
面談の中で社会人基礎力向上の意識を高めるための今後のプランを、学生自身の言葉で説明してもらった。
成果報告会では以下の項目を中心にプレゼンテーションを実施。
・自身がこの授業（インターンシップ）に参加した目的
・実施したこと、学び、成果など
・インターンシップ前後の自身の変化
・今後に向けて

工夫ポイント（自由記述）

前後教育に力を入れた。
自ら手を挙げて参加を希望しているため意欲は高いものの、しっかりと目的を持たせて参加をさせた。
自身の口頭で改めて目的確認をさせることで、意識しながらインターンシップを経験する事につながった。
また、事後には目的に対して達成できたことや出来なかったことをしっかりと振り返らせる時間を設けた。
出来たことについては、再現性を出すため他の活動でも同様に取り組んでみる事をアドバイスし、出来なかったことについては、まずは自身でなぜ出来なかったのかを振り返らせ、今後の大学生活の中でチャレンジしていけそうな場面で再度取り組んでみる事をアドバイスした。

教育的効果（自由記述）

受入先からの実施後のフィードバックを基に、社会人基礎力で不足している部分を、どういった機会を活用して高めていくかを語らせた（目標設定させた）。
個人面談の際の振り返りと成果報告会でのプレゼンテーションにて言語化して語らせた。

改善活動（自由記述）

職業理解を深めるために、より実践的かつ様々なプログラムをインターンシップの中に組み込んでもらうように企業側と相談している。
例えば、レジャー産業でのインターンシップでは接客がメインのプログラムであったが、学生がイメージし難い裏側の業務（営業や事務系など）に携わることで、企業活動全体を見て取れるようにしようと試みている。

また、事後アンケートを企業側に実施し、今後の改善に繋げている。設問は次の通り。
・成果発表会について良かった点、改善すべき点など、忌憚のないご意見をお願いします。
・貴社にとってインターンシップの目的や狙いは何ですか？
・インターンシップ生を受け入れてみて、貴社にとって最も適切なインターンシップ受入期間はどれくらいの日数だと思いましたか？
・インターンシップで成果があったと思われるものは何ですか。
・実施にあたり、苦労されたことがあれば記載してください。
・インターンシップ生の受入を継続するとしたら、大学側からどういったサポートがあると良いとお考えですか？